

# 受験を難行苦行にしてはならない 学びの本質や学問の楽しさ



誉田進学塾グループ  
(株式会社 ジャスメック)

千葉県千葉市

## 清水 貫

代表取締役

誉田進学塾グループ

誉田進学塾  
誉田進学塾 ism  
誉田進学塾 sirius

誉田進学塾 premium / 東進衛星予備校  
東進中学 NET

もはや、コロナは「言い訳」にできない  
環境や運に支配されず、努力で運をつかむ

この3年を振り返ってみると、塾業界全体で早い段階から感染拡大防止策に取り組んだおかげで、学習塾に対する社会の不安感を軽減することが

できました。コロナ禍の対応でご尽力された全国学習塾協会をはじめとして、業界のすべての方々のご努力の賜物だと、皆さまに感謝を申し上げます。ありがとうございます。

今年もまた入試時期にコロナウイルスは終息していませんが、もうこれ

を言い訳にできる時ではありません。確かに当初は予期せぬ不測の緊急事態でしたから、スクランブル体制のもとで判断力や行動力が求められ、危機管理体制の強弱に左右されました。しかし、今は予測も準備も可能な状況です。いつまでも環境要因としてコロナ禍を挙げるのは言い訳に過ぎないと、自戒を込めて感じています。感染拡大防止策の徹底は大前提ですが、環境や運に支配されないための努力こそが、結局は運をつかむことにつながると思います。

2022年は東進衛星予備校を2校新規開校し、他にも1校舎の増設リニューアルを図りました。スタッフたちの努力によって、東進の運営レベルが熟達し安定してきたからこそその展開で、手こたえを得ています。

大学入学共通テストも3回目を終えて、方向性が明らかになってきました。中学入試・高校入試もその影響を大きく受けています。思考力・判断力・表現力に加えて探求型学習を目指す姿勢は、共感する部分があります。ただし現状の出題を見る限り、多方面か

# 成績向上や合格の並立を目指して

らの疑問符がつく指摘や意見が少なくないのも頷けます。

特に、長く冗長な問題文から要点だけを拾う状況把握力や、判断力の速度勝負の傾向が否めません。本

## 受験のために勉強するのは本末転倒 受験を通して学びたい気持ち育てる

しかしながら、学力に対する考え方が変貌していく中で、私たちはそれらを論評・批判することよりも、その条件の下で何を実践し成し遂げるかが重要だと考えます。当然、成績を上げて合格へ導くことは最重要課題ですが、本質的な学力を伸ばすことも忘れてはなりません。二元論でどちらがい

いかではなく、両極端を同時に並立させるべきです。学力を伸ばしたい・学びたいという心を強く育てることができれば、子どもたちは自立して学ぶようになり、結果として成績は上がり合格するはずですよ。

来、求められるべきは本質的な思考力や創造力です。表面的な処理能力を高めるだけでは、深く思考して粘り強く解決する力や創造する力を育てられないのではないかと危惧しています。

能になったことも多数あります。私たちが、次世代を拓けるような技術

## 生徒には学ぶことでしか得られない体験を 社員には挑戦・成長の場を創出したい

見つけて、大胆に取り入れて活用していく方針です。ただし、本当の意味で長く時代を変えるような革新的技術とは、極めて地味な基礎基本の原理の延長上にあると私は考えます。

コロナ禍は時間を短縮したと言われている。マクロで見ると、業界再編の大きな流れや変革に要するはずの長い時間が短縮されて、一気に時代が進んだかもしれません。その中で私たちは流れに合わせるのではなく、自ら進む道を決めて切り拓いていくつもりです。

2023年、誉田進学塾グループは45周年を迎えます。おかげさまで、創業者である私の母は92歳になります。戦後の新しい時代の幕開けとともに、女子が大学に進学できるようになった一期生です。京都教育大学で人文地理を専攻、卒業時の成績が優秀で、日本最古の公立学校である京都市立柳池中学校（現京都市立京都御池中学校）に教員採用されたことを母は誇りにしています。

今でも突然脈略なく突拍子もないことを聞いてきて驚くのですが、先日「静岡県の三島市に日本一短い一級河川があるはずだが、その川の名前を知っているか？」と問われました。なぜかとよくよく聞き返してみると、女学校時代に地理の先生が話したと言うのです。その先生の授業がとても楽しくて好奇心を刺激され、人文地理を学ぶきっかけになったとのこと。そして半世紀以上を経て、10数年前に念願叶って実際に静岡県の現地を訪れたのだと楽しげに話してくれました。知的な刺

激を受け興味を持ち続けることが、知識を有機的に結びつけていくことになるという、勉強の本質を、改めて母から教わったような気がします。

創業時、「学ぶことは楽しいと伝えたい」と母が抱いた思いこそが、弊社がいまなお教育理念として掲げる原点です。受験を単なる難行苦行にしてはなりません。むしろ受験を通してこそわかる、学ぶ楽しさがあると信じます。

私たちは、学問の世界でトップランナーとして一番遠くまで走り続ける人たちが、もしくは学問を通して培った能力を活かし、世の中の様々な分野で最先端を創造し活躍する人たちの育成に集中したいと考えています。

そのためにも、人財を大切に経営こそが、私の使命だと認識しています。社員の挑戦したい・成長したいという思いを發揮できる場を創出することが役目と考えます。私たちの志や考え方に共鳴し、次の時代を切り拓く世代が、民間教育に関わる素晴らしいと感じながら長期的に活躍してくれることを願っています。

社員一人ひとりが主役となって輝いてもらえる場を創出する。その実現に向けて社員と共に明るく前向きに、かつ楽しく頑張ります。

## TOPはこう読む